

## これまでの経緯

国家戦略室は、昨年の福島第一原発事故の発生を契機に、それまでのエネルギー政策について白紙見直しを行い、本年9月14日に「革新的エネルギー・環境戦略」を策定。

同戦略において、原子力委員会について、以下のとおり言及。

参考）革新的エネルギー・環境戦略（平成24年9月14日エネルギー・環境会議決定）抜粋

1. 原発に依存しない社会の一日も早い実現

(2) 原発に依存しない社会の実現に向けた5つの政策

政府は、以下の内容を盛り込んだ新たな原子力政策を、エネルギー・環境会議の場を中心として、確立する。なお、原子力委員会については、原子力の平和的利用の確認などの機能に留意しつつ、その在り方に関する検討の場を設け、組織の廃止・改編も含めて抜本的に見直す。

## 有識者会議の今後のスケジュール（案）

### ○第1回会議

- ・原子力委員会のこれまでの活動と経緯、各国体制（内閣府より説明）  
⇒今後の進め方、原子力委員会の果たしてきた役割等について、自由討議

### ○第2回会議

- ・現在の原子力委員会の役割について、近藤原子力委員長よりヒアリング
- ・原子力規制委員会にとっての原子力委員会の役割について、原子力規制委員会よりヒアリング
- ⇒原子力行政に求められる機能、現在の組織上の課題、今後取り得る体制等について議論

### ○第3回会議

- ・関係省庁（経済産業省、文部科学省、外務省）からのヒアリング
- ⇒第2回会議までの議論及び原子力行政体制に関する関係省庁からのヒアリングを踏まえ、原子力行政体制の機能及び課題を議論し、そのあり方を検討

### ○第4回会議

- ・論点整理
- ⇒第3回会議までの議論を基に、原子力委員会を含めた原子力行政体制全体のあり方について論点整理

### ○第5回以降

- ・第4回会議で示された論点整理をもとに、原子力委員会の見直し案について、とりまとめ